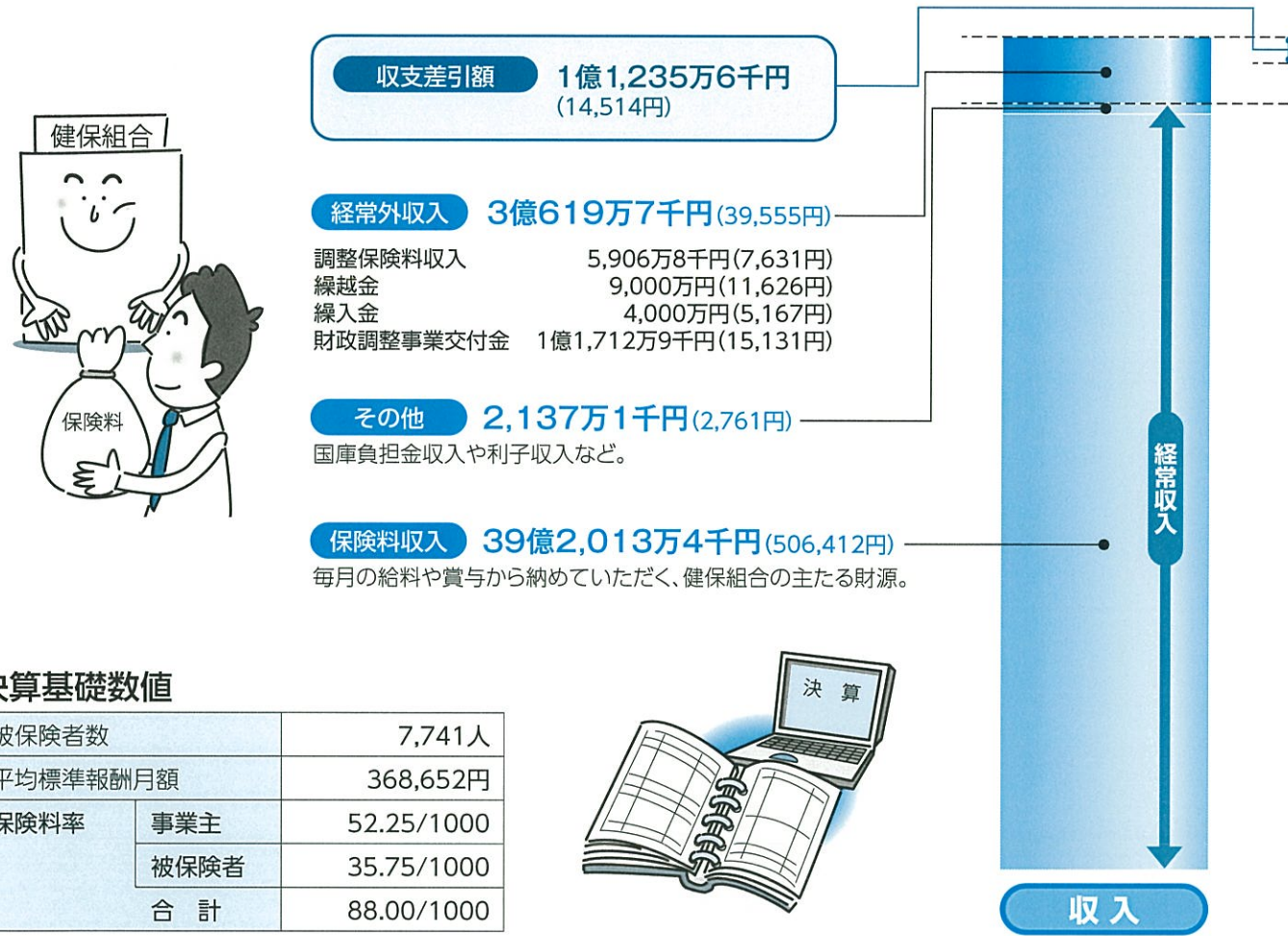


※()内は1人あたり額。

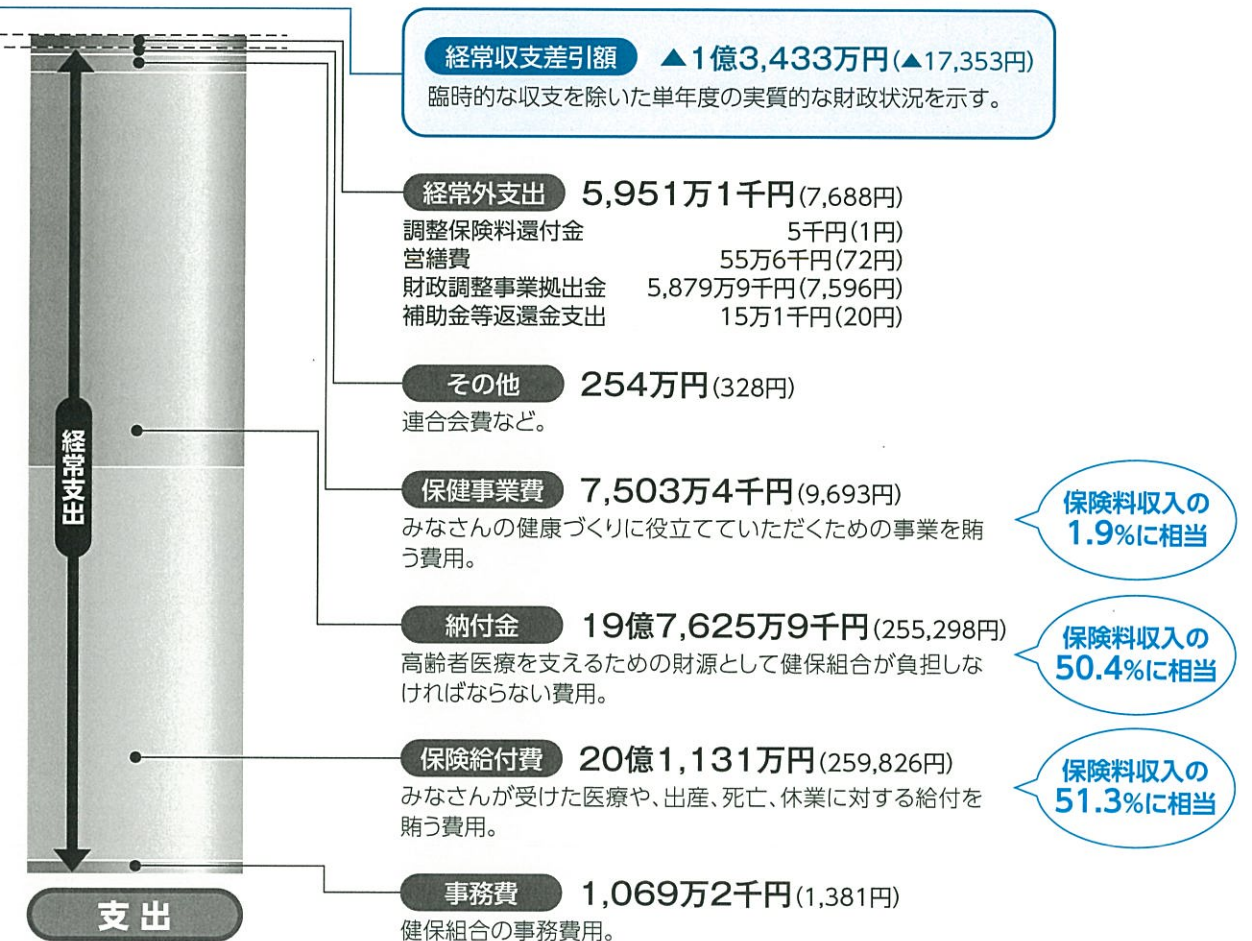
保険給付費・納付金の増加により 経常収支1億3,433万円の赤字 となりました

収入	42億4,770万2千円 (548,728円)	経常収入	39億4,150万5千円 (509,173円)
支出	41億3,534万6千円 (534,213円)	経常支出	40億7,583万5千円 (526,526円)
差引額	1億1,235万6千円 (14,514円)	差引額	▲1億3,433万円 (▲17,353円)



決算基礎数値

被保険者数	7,741人	
平均標準報酬月額	368,652円	
保険料率	事業主	52.25/1000
	被保険者	35.75/1000
	合計	88.00/1000



平成26年度決算●介護保険

収入	
介護保険収入	3億4,423万2千円
繰入金	2,783万5千円
合計	3億7,206万7千円
支出	
介護納付金	3億7,201万8千円
介護保険料還付金	4万9千円
合計	3億7,206万7千円

決算基礎数値		
徴収対象第2号被保険者数	3,775人	
平均標準報酬月額	415,866円	
保険料率	事業主	6.8/1000
	被保険者	6.8/1000
	合計	13.6/1000

収支差引額 0円

決算のポイント

保険料は1億円増収

保険料収入は、被保険者数や標準報酬月額、賞与が前年度を上回ったため、前年度比1億1169万3千円の増収となりました。

保険給付費と納付金で2億円増加

保険給付費は、被保険者1人あたり額が前年度より1万1777円増加し、総額で1億1348万円の増加となりました。

また、納付金は前年度より933万2800円増加しており、保険料収入の実に半分以上を納付金として拠出したこととなります。

経常赤字は前年度の3倍

保険料収入は増収となったものの、それ以上に保険給付費や納付金が増加したため、健康保険組合の実質的な財政状況を示す経常収支では1億3433万円の赤字となりました。この赤字額は、前年度のおよそ3倍に上ります。

なお、総収支差引では1億1235万6千円の残金が生じたため、翌年度への繰り越しや積立金に積み立てるなどして処分しました。

健保財政は依然深刻な状況

高齢化の進行に伴い増加の途をたどる納付金は、その負担のしくみから、健保財政に重くのしかかる構図は、今後も続くものと予測されます。当組合では、財政の健全化を図るため、より効果的かつ効率的な事業の実施に努めてまいります。当組合の事業運営にご理解とご協力をお願いいたします。